



みんなの花で飾った花御堂

本来なら、お釈迦様がお生まれになった 4 月 8 日に花まつりの行事を行い、お釈迦様の誕生を祝うことになっていますが、始園式や入園式前で、園児が登園していないために、今年は、1 月後れの 5 月 10 日(金)に花まつりの行事を行いました。

今年は、例年より一回り小さめの花御堂でしたが、子どもたちが、一人一輪ずつマーガレットやガーベラ、シャクナゲ、カーネーションなど色とりどりの花を持ち寄ったお陰で、見事な花御堂ができ上がりました。花の中には、新しい品種のイエロームーンというカーネーションやブルーカーネーションもあり、初めて目にすることができました。保護者の皆様には、ご協力をいただき有難うございました。

当日は、今年度初めて全園児が、一堂に会することになるので、対面式で転入园児や新入园児を紹介し、その後、花まつりの行事を行いました。

例年、年度初めの宗教的な儀式の時は、新入园児が長時間の話に慣れていないので、ざわつくのですが、今年は、大学の先生の話をしっかり最後まで聞くことができました。最近、大学の先生方が、子どもたちに分かり易く理解させるための手立てとして、紙芝居や VTR 等の具体物を準備されるため、子どもたちも、静かに話を聞くことができるようになりました。

今回は、最新の電子黒板を用いてのお釈迦様誕生の物語でしたから、画面を見ながら静かに聞いていました。当初は、大型スクリーンの迫力ある映像で話をするように計画しておられましたが、園の機器が、機嫌が悪く動かないので、止む無く電子黒板を用いられましたが、効果は大でした。

また、今回、初めて園児の前で話をされた先生は、事前に大学で聞かされていた子どもたちの様子と違って、静かに話を聞いていたので、ほっと胸をなで下ろされたようです。このことから、本園の子どもたちは、年齢を問わず、皆、本の読み聞かせが好きであるということが分かります。



ロータリーは花でいっぱい



11 日(土)は、今年度最初のらいおん組の活動日でした。前半は花の植え替え、後半は響流の森の遊具の防腐剤塗りです。花の植え替えは、今年で 10 回目を迎えますが、お父さんの中には、10 回連続で参加された方もおられ、作業の要領も心得たもので、私が細かく指示することも少なくなり、作業が、年々早くなってきました。私もそろそろ引退の時期が来たようで、安心してらいおん組のお父さん方に引き継げそうです。

今回は、24 人のお父さん方と 26 人の子どもたちが参加しました。子どもたちは、大人用の大きな鍬やスコップを持って、ロータリーやテニスコート前の花壇を耕したり、花を植えたりして、結構いい戦力となりました。

お父さん方は、「子どもは危なくて邪魔になるからあっちへ行ってよ」というのではなく、「子どもができることを大人がカバーする」という考えで臨まれ、子どもの間を縫って上手に耕されました。こうしたお父さん方の姿勢に、改めて感心しました。

お父さん方と子どもたちの力で、今年も夏に向けての衣替えができました。衣替えしたロータリーや花壇は、やはり、美しいですねえ。このように、美しいものを美しいと思えるような感性を育てるには、指導者側が、いつも美しい環境づくりに気を付けるべきだと感じました。参加されたお父さん方、子どもたち、ありがとうございました。

響流の森だよりのペーパーレス化

紙代の節約と同時に、新しい時代に相応しいペーパーレス化を目指して、響流の森だより(園長室だより)を、次回から H.P 上にアップし、バスキャッチで配信することを考えています。紙ベースに馴染みの方は、H.P 上からプリントアウトしてください。基本的には、月初めと中旬のアップ(配信)を考えています。配信の折には、バスキャッチで連絡します。